

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-8_多様な主体による協働の推進

基本計画		事業番号	細事業名称
5-08-01	協働のまちづくりを推進する体制づくり	02435_01	公共施設愛護活動支援事業
5-08-01	協働のまちづくりを推進する体制づくり	02447_01	お手玉文化普及活動事業
5-08-01	協働のまちづくりを推進する体制づくり	02500_01	花いっぱいのもちづくり事業
5-08-02	市民のまちづくり活動への支援	10429_02	新しい公民館創造プロジェクト事業

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	02435_01		
事業名(行目名称)		公共施設愛護活動支援事業費	細事業名	公共施設愛護活動支援事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	多様な主体による協働の推進			
	基本計画	協働のまちづくりを推進する体制づくり	担当課	地域コミュニティ課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、団体、事業者		数値	4,740人		
	手段(どうやって)	積極的な制度の啓発を行い、公共施設愛護事業実施要綱に基づく合意書締結、活動支援を行っている。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	多くの市民が自発的に公共施設の清掃・美化活動に取組み、まちの美化が推進されるとともに、市民と行政が協働して公共施設の愛護に取り組むまちづくりを目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		420	776	776	681	○需用費 677千円 ○使用料及び賃借料 55千円 ○備品購入費 44千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	420	776	776	681		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
活動参加者数		目標値	4159	5000	5000	5000	5050
		実績	4914	4949	5020	4706	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和4年度に入り、4団体が増加し、計110件(9件の休止中含む)となっている。引き続き公共施設の美化活動を推進していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
ボランティア清掃活動者への支援を継続するとともに、本制度や活動状況について広く周知を図ることで、参加者の更なる増加につなげていき、市民とともに快適で美しいまちづくりを進めていく。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和4年度は、団体の参加、活動辞退や休止があり、計109件(9件の休止中含む)となっている。引き続き公共施設の美化活動を推進していく必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	02447_01			
事業名(行目名称)		お手玉文化普及活動費	細事業名	お手玉文化普及活動事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	多様な主体による協働の推進				
	基本計画	協働のまちづくりを推進する体制づくり	担当課	地域コミュニティ課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	一般	数値	2,000人				
	手段(どうやって)	幼稚園、保育園、小学校を中心に授業等でお手玉文化の普及啓発活動を行い、次代を担う子ども達に、お手玉の歴史や素晴らしさを伝えていく。お手玉遊び市民大会を開催し、市民はもとより全国からお手玉ファンを新居浜市に迎え、伝承遊びのお手玉に対する理解を深めるとともにお手玉の技を競い合う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	お手玉文化の普及啓発は、新居浜初のまちづくり活動として、日本の伝承文化である「お手玉」の魅力や効能を重視し、お手玉の普及啓発活動を通じて心豊かなまちづくりの実現を目指す。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,410	1,200	1,200	1,200	お手玉文化普及活動事業委託料 1,200千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	570			
	一般財源	1,410	1,200	1,200	630			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
市民大会参加者数			目標値	2000	2000	5000	5000	5000
			実績	0	0	0	330	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
昨年度は新型コロナウイルスの影響により、一堂に会してお手玉遊び市民大会が開催できなかった。本年度は大会を開催する予定である。このような時期だからこそ、お手玉に関する情報を効果的に発信していくことが重要になっている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
全国お手玉遊び大会を新居浜で開催し、全国からお手玉ファンを迎えお手玉パフォーマンスを通じて交流を進める。さらに、引き続き市内小、中学生にお手玉文化の普及啓発を進める。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討					
3年振りに対面でのお手玉遊び大会を開催できた。お手玉文化の普及啓発という目標をある一定達成できたと考えているため今後は違った形での支援を検討していく。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	02500_01			
事業名(行目名称)		花いっぱいのもちづくり事業費	細事業名	花いっぱいのもちづくり事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	多様な主体による協働の推進				
	基本計画	協働のもちづくりを推進する体制づくり	担当課	地域コミュニティ課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小学校区		数値	18校区			
	手段(どうやって)	自治会や老人会、小中学生などが、地域の主要な道路等にプランターを設置し、水やりや除草等を行い、適正に管理する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	花のある生活は、環境美化に寄与するなど、まちづくりの重要な要素である。花づくりを通して、やさしい心・おもてなしの心を育てるとともに、全市をあげて花いっぱいのもちづくりへの取り組みを進める。また、地域が力を合わせて取り組むことにより、地域の絆の強化を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		7,388	4,951	4,951	3,277	○需用費 1,238千円 ○負担金補助及び交付金 3,713千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	110	250	250	670			
	一般財源	7,278	4,701	4,701	2,607			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
実施校区			目標値	15	3	3	3	3
			実績	2	3	3	3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する					
自治会等の団体を中心に、フラワーパートナーとして花の植え付け及び維持管理をお願いしているが、水やり等の負担、人手不足、メンバーの高齢化等の課題がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
現在実施している3箇所は継続しつつ、主要な公共道路に面する企業にフラワーパートナーとなってもらい(企業版フラワーパートナー)、花いっぱいのもちづくりを拡大していけるよう考えている。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
フラワーパートナーにより、市内3か所(船木・泉川・駅前)にて花いっぱいのもちづくり事業を実施することが出来た。また、19の企業にフラワースポンサーになっていただいた。今後も引き続き積極的な勧誘を行う必要がある。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10429_02			
事業名(行目名称)		地域主導型公民館推進費	細事業名	新しい公民館創造プロジェクト事業				
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	多様な主体による協働の推進				
	基本計画	市民のまちづくり活動への支援	担当課	社会教育課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	新居浜市民		数値	116,052人(R4.3.31現在)			
	手 段 (どうやって)	地域ごとに実情・課題は様々であるため、“つどう(生活のなかで気軽に人々が集うことができる場)”、“まなぶ(自らの興味関心に基づいてまた社会の要請にこたえるために知識や技術を学ぶための場)”を事業の柱として、学びを活かして地域の課題解決を目指す。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の鈍化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。(社会教育法第20条)						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		6,769	9,570	9,570	7,445	○委託料 9,570千円		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	6,769	9,570	9,570	7,445			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
した地域教育力向上プロジェクト推進事業への			目標値	42580	41120	40915	40915	37965
			実績	16252	16432	9073	20516	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>新型コロナウイルス感染症拡大下での実施は、本来の目的である“つどう”“まなぶ”が困難な面もあったが、人数を制限したり、屋外の開催を重点的にするなどして、可能な範囲で実施してきた。特に7月中旬～8月に計画していた夏休みの児童、生徒等を対象にした講座や夏祭り等については、中止をせざるを得ない校区(地区)も多くあったが、感染症対策を徹底した上で延期での実施や人数制限、縮小開催するなど、工夫して開催している校区(地区)も多くあった。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>予算は現状維持とするが、今後も感染対策を行いながら、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、地域の課題解決につながる事業を展開する必要があると考える。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>新型コロナウイルス感染症拡大下で、参加人数や実施内容など制限のある中ではあったが、住民の声が届きやすい利点を生かし、防災や健康分野、子ども向けの事業など、その都度、住民のニーズにあった事業を多数展開してきた。新しい組織、体制づくりの推進、強化を図ることができた。</p>								